

北研エンジニアリング（株）環境行動計画

平成20年5月23日

取組方針

北研エンジニアリング株式会社は『住みよい環境のコーディネーター』として、水処理施設を中心とした設備メンテナンス事業により、生活環境の向上に貢献している企業です。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- 1：事業活動の中での省エネルギーと省資源
- 2：現業部門、事務部門における廃棄物の削減
- 3：適切なメンテナンスによる、お客様施設の環境保全
- 4：最新の環境関連情報の収集と業務へのフィードバック

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年 5月23日

北研エンジニアリング株式会社

代表取締役 谷口 治雄

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

<p>目標—1</p>	<p>二酸化炭素の排出量（売上高当たり）を、07年度を基準として08年度で407（kg-CO₂/百万円）に、09年度で400（kg-CO₂/百万円）に削減する（3%削減）</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>（事務所での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 冷房温度（28度）と暖房温度（22度）を厳守する ② 昼休み、人のいない区域の消灯を徹底する ③ OA機器の節電機能を活用する ④ クールビズを推進する <p>（車両の使用に関する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける ⑥ 車両の点検・整備と燃費の確認を定期的に行う ⑦ 車両の買い替えの際には低燃費車の導入を検討する

<p>目標—2</p>	<p>廃棄物の排出量（売上高当たり）を、07年度を基準として、08年度で0.105（トン/百万円）に、09年度で0.1（トン/百万円）に削減する</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>（事務所での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ペットボトル、空き缶の分別を徹底する ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する ③ 資源として引き取ってもらえるものは回収業者へ持ち込む ④ 倉庫整理、在庫管理を徹底し管材等のムダをなくす ⑤ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する

<p>目標—3</p>	<p>コピー用紙の使用量（売上高当たり）を、07年度を基準として、08年度で2.07（kg/百万円）に、09年度で2.0（kg/百万円）に削減する（5%削減）</p>
<p>具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める ③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する ④ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する

目標—4	適切なメンテナンスにより、お客様施設の環境保全に貢献する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 機器の性能が低下し、環境負荷を増大させないよう、修繕の必要な機器については早期かつ具体的に提案する ② 各人が技術の向上に努め、より効率的なメンテナンスを実現する ③ 環境関連の資格取得に取り組む

目標—5	最新の環境関連情報を収集し業務へフィードバックする
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境関連法規を整理し、定期的に更新する ② 専門誌、展示会等の機会を通じ、最新技術の知識を収集する ③ 上記の情報を社内で共有し、導入できるものを積極的に検討する

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、総務部長（環境管理責任者）を委員長とする環境活動委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。